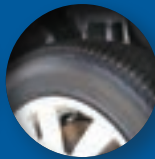




TOHO REPORT

第82期（第2四半期）2018年4月1日 ▶ 2018年9月30日

経営
方針

研究開発に注力
独創的な技術で新たな価値を創造



さらに詳細な情報はWEBでご覧いただけます。

東邦化学工業株式会社

検索

<https://toho-chem.co.jp>

代表取締役社長

中崎龍雄

■ ごあいさつ

株主の皆様には日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

大阪北部地震以降、2018年7月豪雨、台風21号、2018年北海道胆振東部地震など各地で大きな災害が発生しております。被害を受けられた皆様に謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早く復旧されますよう心よりお祈り申し上げます。

さて、第82期の第2四半期決算（2018年4月1日から2018年9月30日まで）を終了いたしましたので、ここに事業の概況等につきましてご報告申し上げます。

決算ダイジェスト

売上高

22,234 百万円

営業利益

972 百万円

経常利益

788 百万円

親会社株主に帰属する
四半期純利益

496 百万円

通期の見通し

売上高

46,000 百万円

営業利益

2,400 百万円

経常利益

2,070 百万円

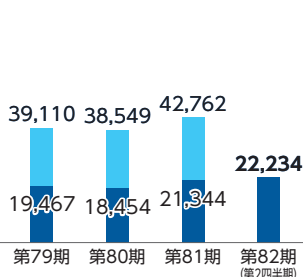
親会社株主に帰属する
当期純利益

1,400 百万円

※2018年5月11日に公表した2019年3月期の通期連結業績予想を修正しております。

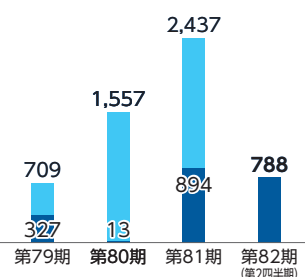
売上高

■ 第2四半期累計（中間） ■ 通期
（単位：百万円）



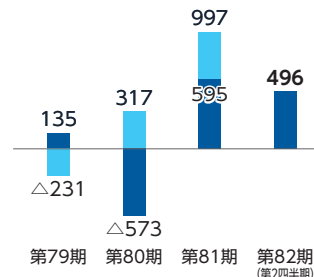
経常利益

■ 第2四半期累計（中間） ■ 通期
（単位：百万円）



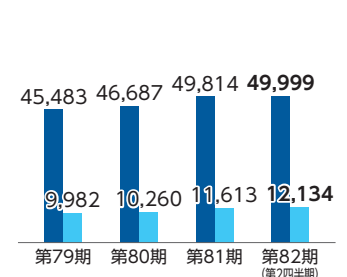
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

■ 第2四半期累計（中間） ■ 通期
（単位：百万円）



総資産／純資産

■ 総資産 ■ 純資産
（単位：百万円）



トピックス ▶ 次の成長に向けた攻めの投資

当社は2018年3月に創業80周年を迎えました。当社ではこれからの10年先を見据え、更なる成長のための3つの積極的な投資を実行しております。

1. 成長分野への投資

【収益の柱である4つの主要分野】

- 香粧原料分野
- 電子情報材料分野
- 土木建築用薬剤分野
- 特殊溶剤分野

1つ目は成長分野への積極的な投資です。収益の柱である4つの主要分野を中心に、関連する生産体制を強化しております。中でも収益の大きな柱へと成長した電子情報材料分野は、過去数年大きく伸張り、今後も旺盛な需要が見込めるため、これまで能力増強を続けてまいりました。2018年3月には千葉工場Eプラントの精製ライン1系列が完成し、順調に稼働している他、すでに2系列目の建設にも着手しており、2019年春に稼働予定です。今後も、新プラント建設を含む増産体制構築を検討してまいります。

2. 合理化・省人化実現に向けた投資



千葉工場危険物立体自動倉庫

2つ目は既存設備の改造・付帯設備設置による生産合理化及び自動化・省人化に向けた投資です。生産性を更に向上させ、コスト競争力を高め、これまで取り組んできた「戦える工場づくり」を一段と加速させてまいります。

千葉工場では、2018年9月に危険物立体自動

倉庫が完成し、敷地の有効活用、倉庫業務の効率化・省人化、外部倉庫費用の削減を同時に実現いたしました。

また、追浜工場では、2018年6月に特殊溶剤分野の製造装置の更新と貯槽群を新設し、生産能力の増加を実現いたしました。この他、神奈川県補助金制度を活用し、コジェネレーション設備の更新を進めております。完工後は同工場で使用する電力及び蒸気の自製化に加え、隣接する研究所の電力も賄うことができるようになります。

鹿島工場では、生産性向上を目的に、2018年3月に原料仕込み工程合理化のための設備を新たに設置いたしました。今後は貯槽群の増設に取り掛かる計画です。

3. グローバル市場への投資



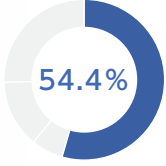
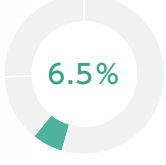
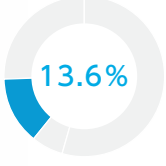
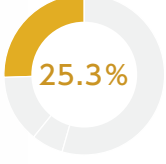
東邦化学(上海)有限公司増設工事完成後のイメージ

3つ目は中国市場向けの生産体制強化に向けた投資です。当社の100%子会社・東邦化学(上海)有限公司の増設工事について、中国当局からの認可が下り、2018年11月より着工いたしました。

東邦化学(上海)有限公司は、2014年の営業生産開始以来、売上高は年々増加し、今後も界面活性剤やアクリレート関連製品の着実な増加が見込まれる他、新たに機能性ポリマーの生産を計画しております。2019年末には既存設備がフル稼働になる見通しで、生産能力不足が予想されます。

そのため、増設工事で新たな生産棟及び生産設備を増設し、今後の需要増に対応いたします。また、危険物倉庫を増設して生産増に対応すると共に、外部倉庫費用の大幅削減も実現いたします。増設工事が完了すると、年間約8千トンの生産能力増加が実現する見通しで、2020年年央の営業生産開始を目指して取り組んでおります。

セグメント別の概況

	売上高	セグメント利益	売上高構成比
界面活性剤  ■ トイレタリー・化粧品 ■ 一般洗浄剤 ■ プラスチック用薬剤 ■ 土木建築用薬剤 ■ 紙パルプ用薬剤 ■ 農薬助剤 ■ 繊維助剤	120億87百万円  前年同期比 2.9%増	6億46百万円 (前年同期 7億88百万円)	 54.4%
樹脂  ■ 石油樹脂 ■ 合成樹脂 ■ 樹脂エマルジョン	14億43百万円  前年同期比 6.8%増	△39百万円 (前年同期 △16百万円)	 6.5%
化成品  ■ ロジン系乳化重合剤 ■ 石油添加剤 ■ 金属加工油剤	30億28百万円  前年同期比 4.5%減	84百万円 (前年同期 82百万円)	 13.6%
スペシャリティー ケミカル  ■ 溶剤 ■ 電子情報関連 微細加工用樹脂 ■ アクリレート	56億18百万円  前年同期比 11.7%増	1億40百万円 (前年同期 1億44百万円)	 25.3%

※上記区分以外に「その他」として、売上高55百万円(売上高構成比0.2%)、セグメント利益9百万円(前年同期24百万円)があります。
 ※各セグメント利益に帰属しない調整額(棚卸資産の調整額等)が1億30百万円(前年同期△16百万円)あります。

連結財務データ

主な経営成績	(百万円)	第77期 2014年3月 (通期)	第78期 2015年3月 (通期)	第79期 2016年3月 (通期)	第80期 2017年3月 (通期)	第81期 2018年3月 (通期)	第82期 2019年3月 (第2四半期)
売上高		37,995	41,463	39,110	38,549	42,762	22,234
営業利益		324	199	1,155	2,214	2,398	972
経常利益		766	410	709	1,557	2,437	788
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 ^{※1}		413	14	△231	317	997	496
純資産		10,248	10,870	9,982	10,260	11,613	12,134
総資産 ^{※2}		45,250	45,920	45,483	46,687	49,814	49,999
営業活動によるキャッシュ・フロー		213	2,101	2,353	2,764	4,004	630
投資活動によるキャッシュ・フロー		△616	△976	△784	△467	△1,068	△1,464
財務活動によるキャッシュ・フロー		△529	△723	△711	△749	△1,005	△740
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高		3,897	4,433	5,243	6,830	8,789	7,156

※1 第79期より「企業結合に関する会計基準」等の適用に伴い、従来の「四半期(当期)純利益」は「親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益」に名称が変更になりました。

※2 第82期より「税効果会計に係る会計基準」の一部改正等の適用に伴い、第81期の総資産は選及処理後の数値で表示しております。

1株当たりデータ	(円)						
純資産		476.78	505.44	463.89	477.35	540.89	565.42
四半期(当期)純利益		19.38	0.69	△10.84	14.90	46.76	23.29
配当金		6	6	6	6	10	—

主な指標							
自己資本比率	(%)	22.5	23.5	21.8	21.8	23.2	24.1
ROA(総資産経常利益率)	(%)	1.7	0.9	1.6	3.4	5.1	—
ROE(自己資本当期純利益率)	(%)	4.3	0.1	△2.2	3.2	9.2	—
PER(株価収益率)	(倍)	14.6	462.3	—	20.1	13.2	—
配当性向	(%)	31.0	873.7	—	40.3	21.4	—

会社概要・株式の状況等

(2018年9月30日現在)

概要

- 社名 東邦化学工業株式会社
TOHO CHEMICAL INDUSTRY COMPANY, LIMITED
- 設立 1938(昭和13)年3月18日
- 資本金 17億5,550万円
- 営業品目 界面活性剤、樹脂、化成品、スペシャリティケミカル
- 上場証券取引所 東京証券取引所(市場第2部)
- 会計監査人 EY新日本有限責任監査法人

役員

- | | | | |
|---------|------|-------|----------------------|
| 代表取締役社長 | 中崎龍雄 | 取締役 | 脇田雅元 |
| 常務取締役 | 信近一雄 | 取締役 | 永岡幹人 |
| 常務取締役 | 江藤俊幸 | 取締役 | 中野憲一 |
| 常務取締役 | 井上 豊 | 取締役 | 越智和俊 ^(※1) |
| 常務取締役 | 馬場俊秀 | 取締役 | 野村公喜 ^(※1) |
| | | 常勤監査役 | 大熊道男 |
| | | 常勤監査役 | 越智英隆 ^(※2) |
| | | 監査役 | 山本一郎 ^(※2) |
- (※1)は社外取締役 (※2)は社外監査役

事業所

- 本社 東京都中央区
- 支店 大阪(大阪府)、名古屋(愛知県)
- 営業所 富士(静岡県)、四国(愛媛県)
- 工場 追浜(神奈川県)、千葉(千葉県)、四日市(三重県)、
鹿島(茨城県)、徳山(山口県)
- 研究所 追浜(神奈川県)、千葉(千葉県)、大阪(大阪府)

連結グループ会社

- | | |
|-----------------|----------|
| 近代化学工業株式会社 | 大阪府大阪市 |
| 株式会社横須賀環境技術センター | 神奈川県横須賀市 |
| 東邦化学倉庫株式会社 | 神奈川県横須賀市 |
| 懷集東邦化学有限公司 | 中国広東省肇慶市 |
| 東邦化貿易(上海)有限公司 | 中国上海市 |
| 東邦化学(上海)有限公司 | 中国上海市 |

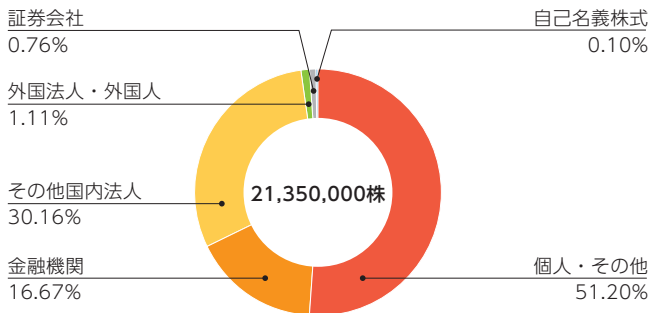
株式の状況

- 株式数 発行可能株式総数..... 85,000,000株
発行済株式の総数..... 21,350,000株
- 株主総数 1,195名
- 大株主(上位10名)

株主名	保有株式数 (千株)	持株比率 (%)
東邦化学工業取引会社持株会	3,282	15.39
中崎 龍雄	2,528	11.85
三井化学株式会社	1,390	6.51
三井物産株式会社	1,233	5.78
株式会社三井住友銀行	1,065	4.99
東邦化学工業従業員持株会	920	4.31
三井住友信託銀行株式会社	675	3.16
三井住友海上火災保険株式会社	550	2.57
丸紅株式会社	503	2.36
株式会社菅野商事	302	1.41

(注)持株比率は自己株式(21,945株)を控除して計算しております。

所有者別株式分布



	持株数(株)	持株比率(%)
● 個人・その他	10,931,815	51.20
● 金融機関	3,559,700	16.67
● その他国内法人	6,438,250	30.16
● 外国法人・外国人	236,134	1.11
● 証券会社	162,156	0.76
● 自己名義株式	21,945	0.10

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月下旬
- 基準日 毎年3月31日
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
- 特別口座の
口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
- 郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

- (電話照会先) 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店
及び全国各支店で行っております。

- ・住所変更、単元未満株式の買取請求等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別
口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・未払配当金の支払について
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



〒104-0044 東京都中央区明石町6-4(ニチレイ明石町ビル)
TEL 03-5550-3737

当社ホームページもご覧ください。
<https://toho-chem.co.jp>

UD FONT
見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

